

W28a VSOP-2 Key Science Program の方針

亀野誠二 (鹿児島大)、坪井昌人、村田泰宏、平林久 (ISAS/JAXA)、萩原喜昭、井上允 (国立天文台)、藤沢健太 (山口大)

VSOP-2 (VLBI Space Observatory Program 2) の科学観測時間は、一般公募観測と Key Science Program (KSP) の2種類が予定されている。KSP は VSOP-2 のミッション主導で実行する観測計画であり、VSOP-2 の成功基準を達成するために設定された。その方針は、国際的メンバーで構成される諮問委員会 VISC-2 (VSOP-2 International Science Council) で議論され、主な方針は下記のように決まった。

- ・ KSP は、VSOP-2 の成果を示す重要なサイエンスで一般公募観測では困難な観測計画を実行する。
- ・ KSP の課題とチームは世界から広く募り、選ばれたチームは適切なミッションメンバーを加えて観測を実行し、速やかに成果を出す責任を持つ。
- ・ KSP の少なくとも1つは VSOP-2 計画の中心である JAXA と国立天文台が主導する。
- ・ KSP の課題は一般公募観測の AO より十分前もって公表される。
- ・ KSP のデータは有限の占有期間が設定される。

上記のように、KSP は最大の成果が挙げられるように多分に競争的である。活動銀河核の降着円盤やジェット加速領域の磁場構造、メーザー源を用いた銀河系力学構造、系外メーザー源観測によるブラックホール質量と降着現象の解明、原始星磁気圏の時間発展など、VSOP-2 の計画初期から柱としてきた課題を実行する上で KSP の役割は重要であるとともに、研究計画を十分に練って KSP に提案する必要がある。本講演では、KSP 方針とその経緯、加えて KSP に参入する道筋を説明する。